

計画未達も黒字確保

諏訪森林組合が総代会

諏訪森林組合(茅野市)は28日、第43回通常総代会を茅野市役所で開いた。今年度の事業報告や今年度の事業計画、役員選任など11議案を可決、承認、選任した。

今年度は主業務の森林整備部門で対計画比132%の1億7552万円となった。一方で木材の販売部門が3014万円となり、同比31%と振るわず、全体では2億1157万円で同比90%にとどまった。今期末組合員数は前期末比109人減の4009人で加入者は1人だった。それでも経常利益は90万の黒字を確保。税引き後のわずかな赤字

を前期繰越剰余金を補てんし、当期末処分剰余金は13



今年度の事業報告や役員など11議案を可決承認、選任した通常総代会

1万円となった。

今年度も林業、木材産業を取り巻く厳しい社会情勢が続くが、的確な状況判断を心掛けた。黒字確保を目指す。総代会には44人が本人出席した。藤森良隆組合長は「木材価格

が不安定な状況の中でも黒字を確保することができた。これからも地域にとつて頼りにされる事業体であり続けた。皆さんからの一層の支援と協力を願う」とあいさつした。(野村知秀)